

# 老人保健編

## 1 医療受給者証・健康手帳の交付

平成 15 年度末現在、「医療受給者証の交付数」は約 1512 万 3 千人、平成 15 年度の「医療受給資格者以外の者への健康手帳交付数」は約 151 万 8 千人となっている。(表 1)

表 1 医療受給者証、医療受給資格者以外の者への健康手帳の交付状況

平成 15 年度(2003)

	医療受給者証の交付 (年度末現在)			医療受給資格者以外の者への 健康手帳の交付 (年度中)		
	総数	75歳以上 1)	65～74歳	総数	40～74歳	75歳以上
交付数 (人)	15 123 006	14 671 636	451 370	1 517 528	1 470 293	47 235

注:1)平成14年10月、老人保健法が改正されたことに伴い、第25条第1項に該当する者「70歳以上」が「75歳以上」に引き上げられたが、「75歳以上」には、経過措置として平成14年9月30日の時点で70歳以上であった者を含む。

## 2 基本健康診査

### (1) 基本健康診査の実施状況の年次推移

平成 15 年度、基本健康診査の受診者は約 1294 万 1 千人、受診率は 44.8%となっている。

また、受診率の年次推移をみると、年々増加している(表 2、図 1)

表 2 基本健康診査の実施状況

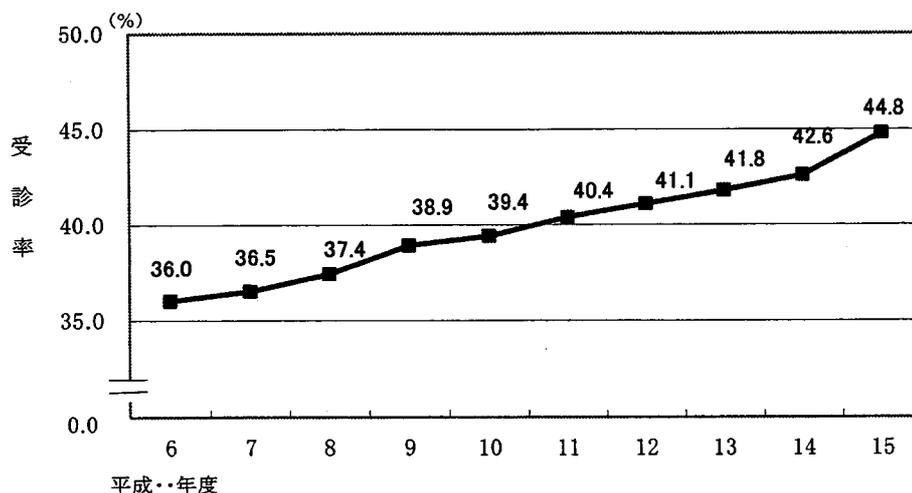
各年度

	平成11年度 (1999)	12年度 (2000)	13年度 ( '01)	14年度 ( '02)	15年度 ( '03)
基本健康診査 受診者数 (人)	11 210 009	11 532 716	11 847 408	12 330 044	12 941 480
受診率 (%)	40.4	41.1	41.8	42.6	44.8

注:「基本健康診査受診者数」については、「Ⅲ用語の説明」参照。

図 1 基本健康診査受診率

各年度



(2) 基本健康診査における性・年齢階級別実施状況

平成 15 年度、基本健康診査における受診者は約 1294 万 1 千人、「男」約 444 万人、「女」約 850 万 1 千人、「女」は「男」の約 1.9 倍になっている。(表 3)

また、性・年齢階級別にみた指導区分「要医療」の構成割合は、「男」は「60～64」から 5 割を超え、「女」は「65～69」から 5 割を超えており、「男」「女」とも「75 歳以上」で 6 割を超えている。(図 2)

表 3 性・年齢階級別にみた基本健康診査における受診者の状況

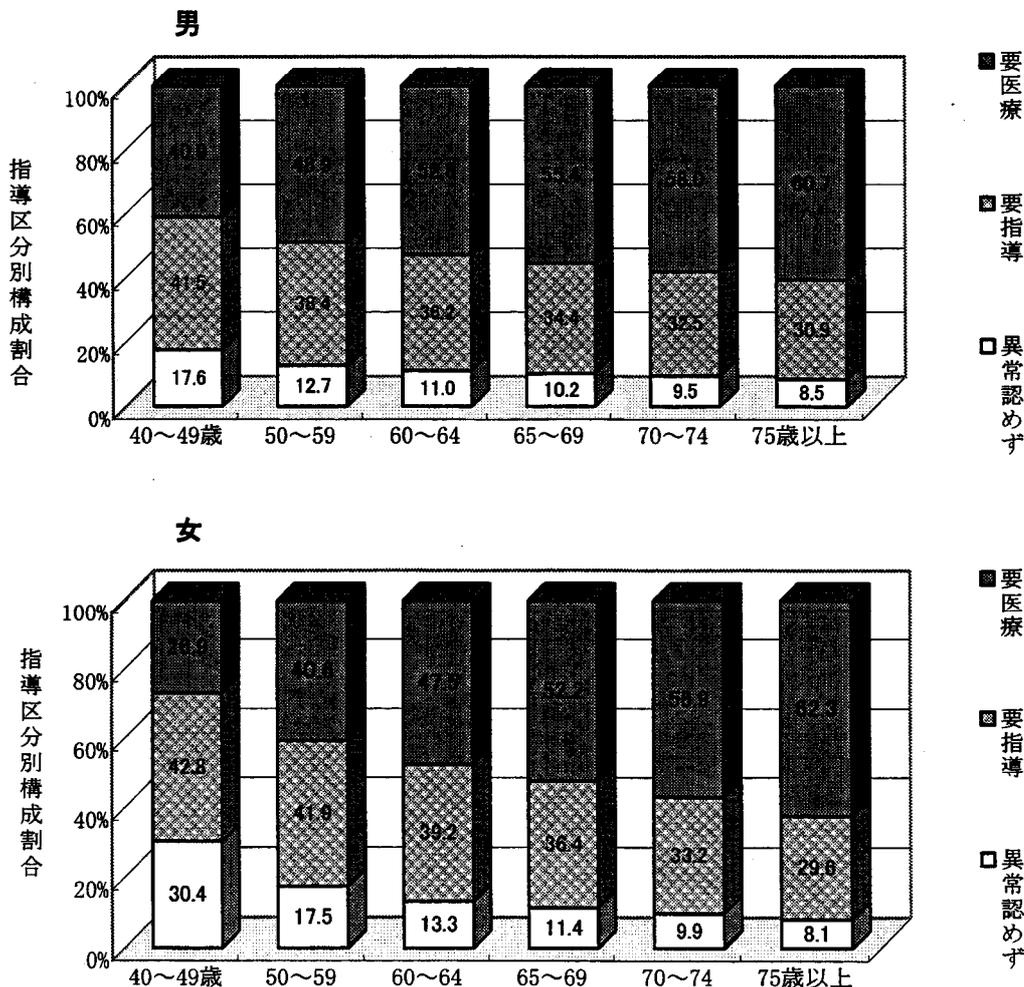
平成 15 年度(2003)

(単位:人)

	総数	40～49歳	50～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
基本健康診査受診者数	12 941 480	1 375 730	2 531 537	1 985 176	2 322 388	2 152 982	2 573 667
基本健康診査	12 910 022	1 374 305	2 529 470	1 983 668	2 320 180	2 149 702	2 552 697
訪問基本健康診査	30 866	1 405	2 002	1 455	2 122	3 174	20 708
介護家族訪問基本健康診査	592	20	65	53	86	106	262
男	4 439 997	359 266	644 982	660 115	905 410	881 594	988 630
女	8 501 483	1 016 464	1 886 555	1 325 061	1 416 978	1 271 388	1 585 037

図 2 性・年齢階級別にみた基本健康診査における指導区分別構成割合

平成 15 年度(2003)



(3) 基本健康診査における喫煙状況

平成15年度、基本健康診査における受診者の喫煙率は、「男」33.1%、「女」6.4%となっている。

また、喫煙率を性・年齢階級別でみると、「男」「女」とも年齢が高くなるに従い低くなっている。(図3)

喫煙率を都道府県別でみると、「男」は「青森」「石川」「山梨」「大阪」で高く、「島根」「広島」「山口」「沖縄」で低くなっている。一方、「女」は「北海道」「東京」「神奈川」「大阪」で高く、「鳥取」「島根」「鹿児島」で低くなっている。(図4)

図3 性・年齢階級別にみた基本健康診査における受診者の喫煙状況 平成15年度(2003)

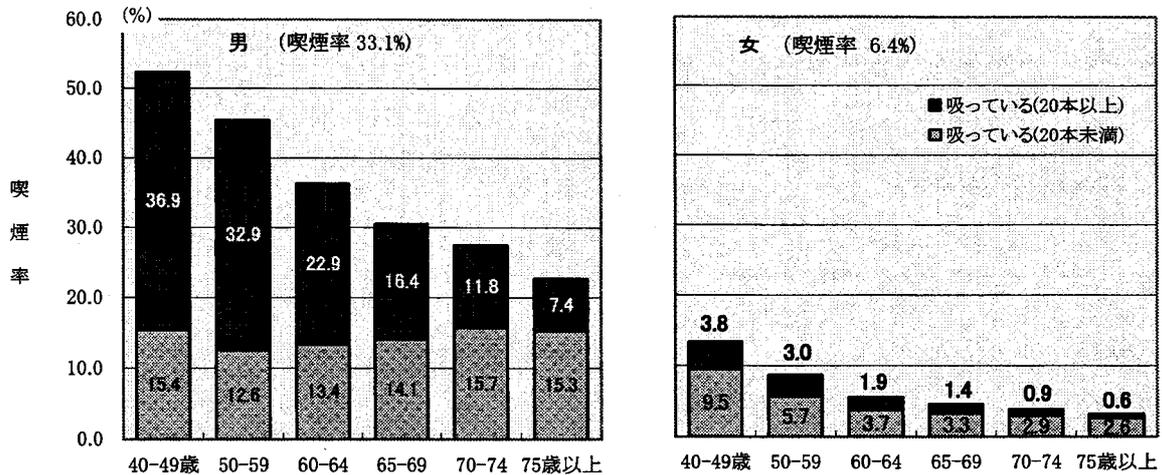
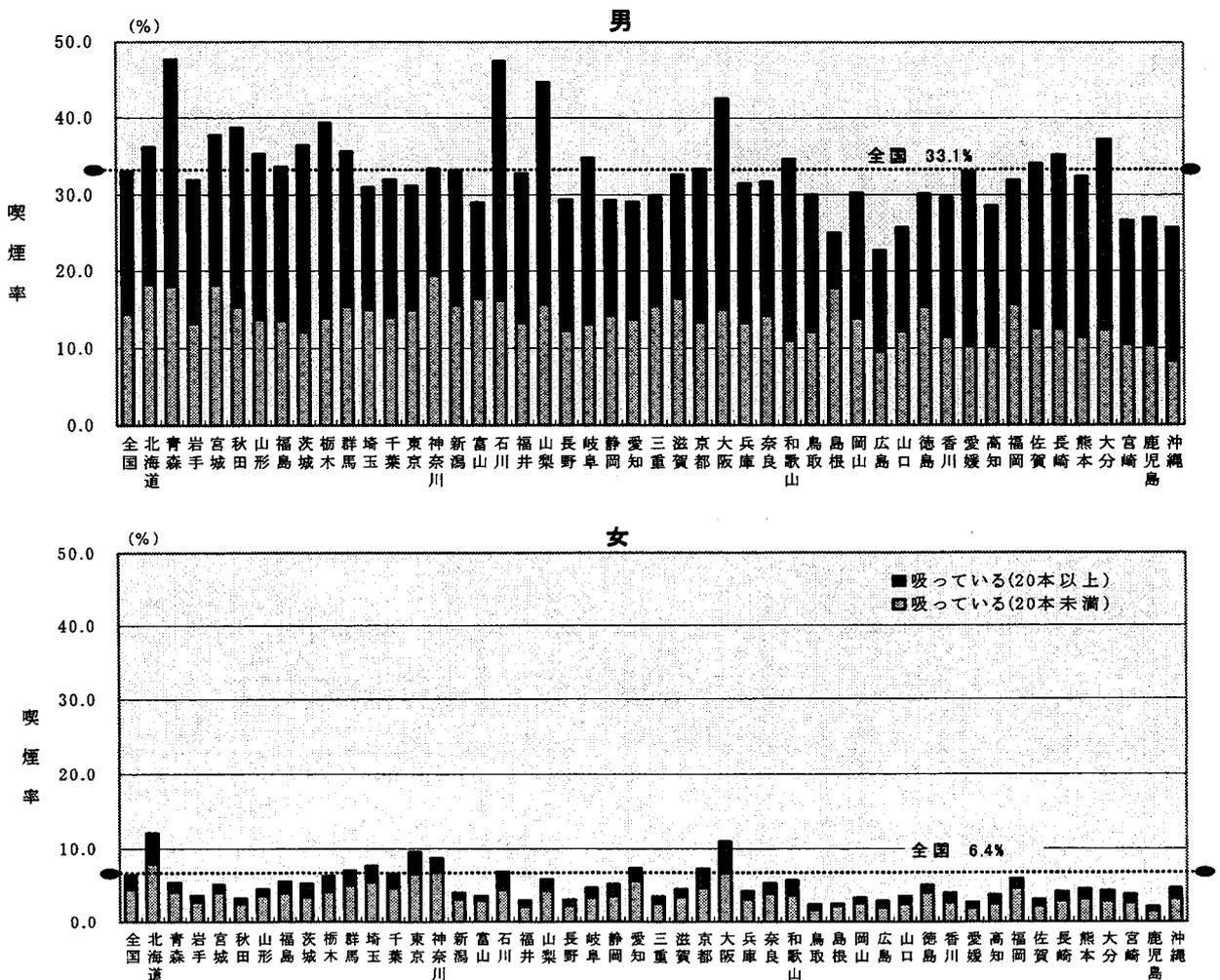


図4 都道府県別にみた基本健康診査における受診者の喫煙状況 平成15年度(2003)



### 3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

平成 15 年度、歯周疾患検診受診者は約 8 万 3 千人、骨粗鬆症検診受診者は約 9 万 1 千人となっている。(表 4)

指導区分「要精検者」の構成割合は、「歯周疾患検診」74.1%、「骨粗鬆症検診」3.0%となっている。(図 5)

平成 15 年度の検診実施率は、「歯周疾患検診」36.5%、「骨粗鬆症検診」57.4%となっており、検診実施率の年次推移をみると、年々増加している。(表 5)

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況 各年度

	平成12年度	13年度	14年度	15年度	対前年比
	(2000)	('01)	('02)	('03)	
歯周疾患検診受診者数 (人)	46 015	63 432	72 974	82 669	113.3
骨粗鬆症検診受診者数 (人)	67 046	80 132	82 773	90 855	109.8

図 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診における指導区分別構成割合

平成 15 年度(2003)

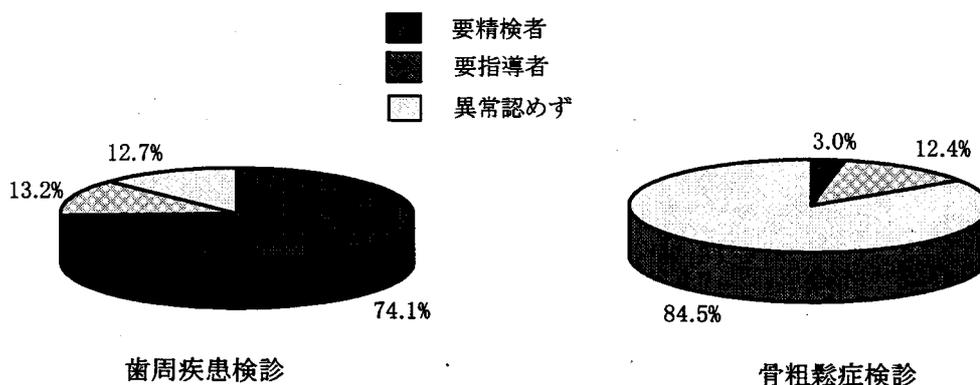


表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び実施率

各年度

	歯周疾患検診				骨粗鬆症検診			
	平成12年度 (2000)	13年度 ('01)	14年度 ('02)	15年度 ('03)	平成12年度 (2000)	13年度 ('01)	14年度 ('02)	15年度 ('03)
実施市区町村数	610	831	991	1 152	1 406	1 619	1 762	1 812
実施率 (%)	18.8	25.6	30.6	36.5	43.3	49.9	54.5	57.4
(参考)市区町村数	3 250	3 246	3 235	3 155	3 250	3 246	3 235	3 155

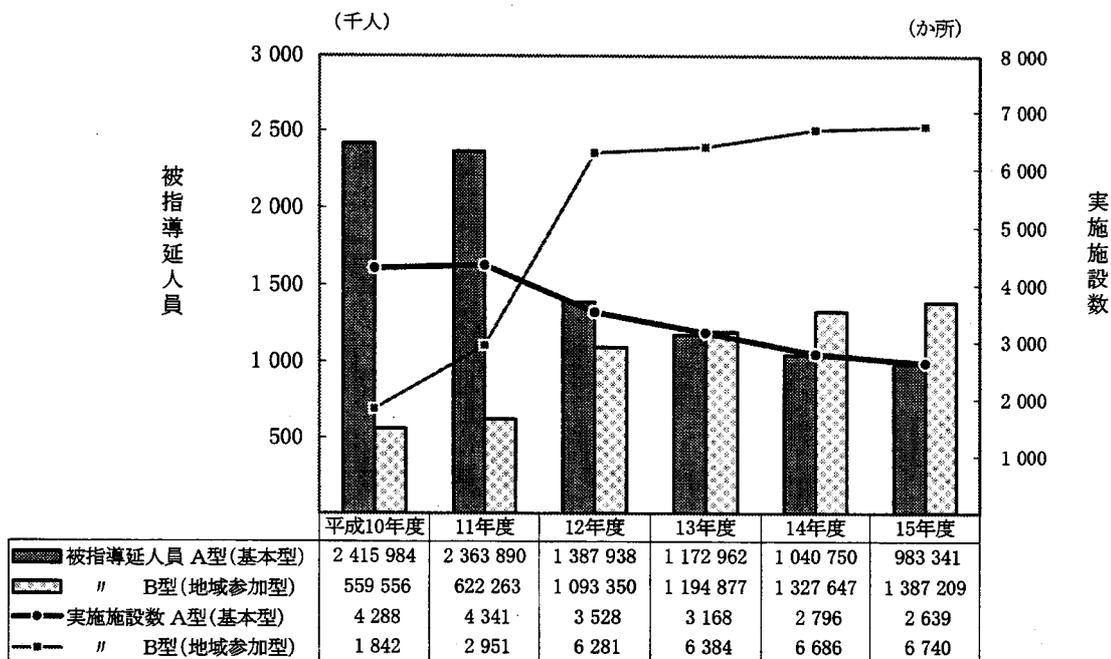
#### 4 機能訓練

平成 15 年度、「A 型（基本型）」の機能訓練実施施設数は 2,639 か所、被指導延人員は約 98 万 3 千人、「B 型（地域参加型）」6,740 か所、約 138 万 7 千人となっている。

平成 12 年度以降、「B 型（地域参加型）」の機能訓練実施施設数は増加し、一方、「A 型（基本型）」は減少している。（図 6）

図 6 機能訓練の実施状況

各年度

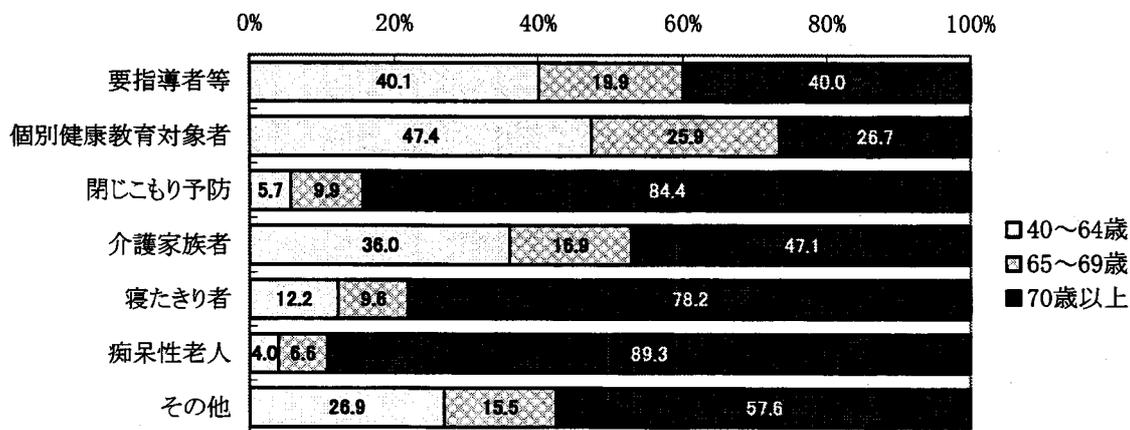


#### 5 訪問指導

平成 15 年度、被訪問指導実人員を指導内容ごとに年齢階級別の構成割合で見ると、「要指導者等」は「40～64 歳」「70 歳以上」に多く、「個別健康教育対象者」は「40～64 歳」に多く、それ以外の訪問内容については「70 歳以上」の割合が高くなっている。（図 7）

図 7 訪問指導内容・年齢階級別にみた被訪問指導実人員の構成割合

平成 15 年度(2003)



注：報告件数は「IV 統計表」に掲載している。

## 6 がん検診

### (1) がん検診の受診状況

平成15年度、がん検診の受診率は、「胃がん」13.3%、「大腸がん」18.1%、「肺がん」23.7%、「子宮がん」15.3%、「乳がん」12.9%となっている。(表6、図8)

「がんであった者のがん検診受診者に対する割合」は、「乳がん 視触診方式及びマンモグラフィ」0.22%、「大腸がん」0.17%となっている。(表7)

表6 がん検診受診者数及び受診率

各年度

		平成11年度 (1999)	12年度 (2000)	13年度 ( '01)	14年度 ( '02)	15年度 ( '03)
胃がん	受診者数 (人)	4 171 075	4 206 543	4 302 562	4 371 784	4 508 041
	受診率 (%)	13.1	13.0	12.9	13.0	13.3
大腸がん	受診者数 (人)	5 271 196	5 480 593	5 755 703	6 052 473	6 403 659
	受診率 (%)	15.3	15.8	16.5	17.1	18.1
肺がん	受診者数 (人)	7 127 240	7 267 718	7 412 212	7 490 412	7 841 092
	受診率 (%)	22.3	22.6	22.8	22.8	23.7
子宮がん	受診者数 (人)	3 508 486	3 577 540	3 825 670	3 863 380	4 087 444
	受診率 (%)	13.7	13.8	14.6	14.6	15.3
乳がん	受診者数 (人)	3 057 444	3 093 798	3 279 212	3 337 202	3 488 074
	受診率 (%)	11.7	11.7	12.3	12.4	12.9

注：1) 受診率=受診者数/対象者×100

2) 「受診者数」については、「用語の説明」参照。

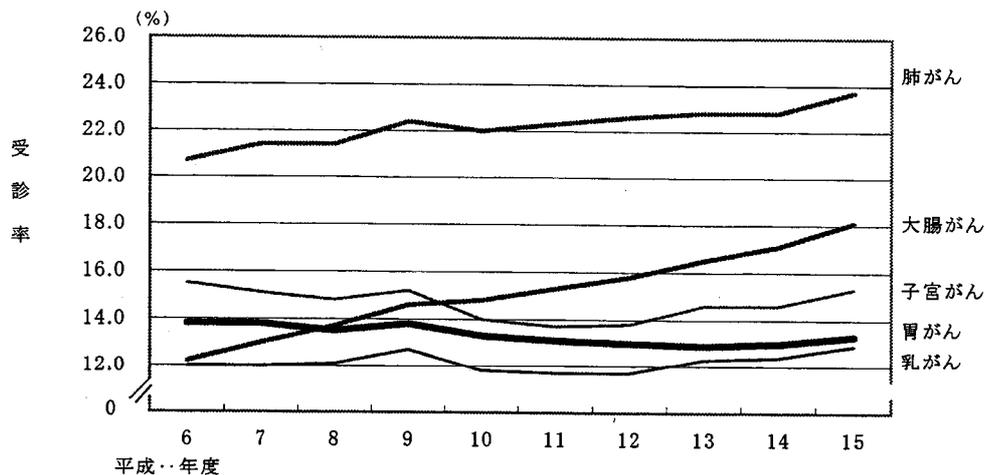
表7 がん検診における要精密検査者及びがんであった者の割合

平成15年度(2003)

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん		乳がん	
				頸部のみ	頸部及び体部	視触診方式	視触診方式及びマンモグラフィ
がん検診受診者数 (人)	4 508 041	6 403 659	7 841 092	3 650 689	436 755	2 770 371	717 703
要精密検査者 (人)	518 753	466 172	229 529	38 875	7 909	140 958	59 207
「がん検診受診者」に対する割合 (%)	11.51	7.28	2.93	1.06	1.81	5.09	8.25
がんであった者 (人)	6 969	10 598	4 183	2 111	533	3 472	1 563
「がん検診受診者」に対する割合 (%)	0.15	0.17	0.05	0.06	0.12	0.13	0.22
「要精密検査者」に対する割合 (%)	1.34	2.27	1.82	5.43	6.74	2.46	2.64

図8 がん検診受診率

各年度



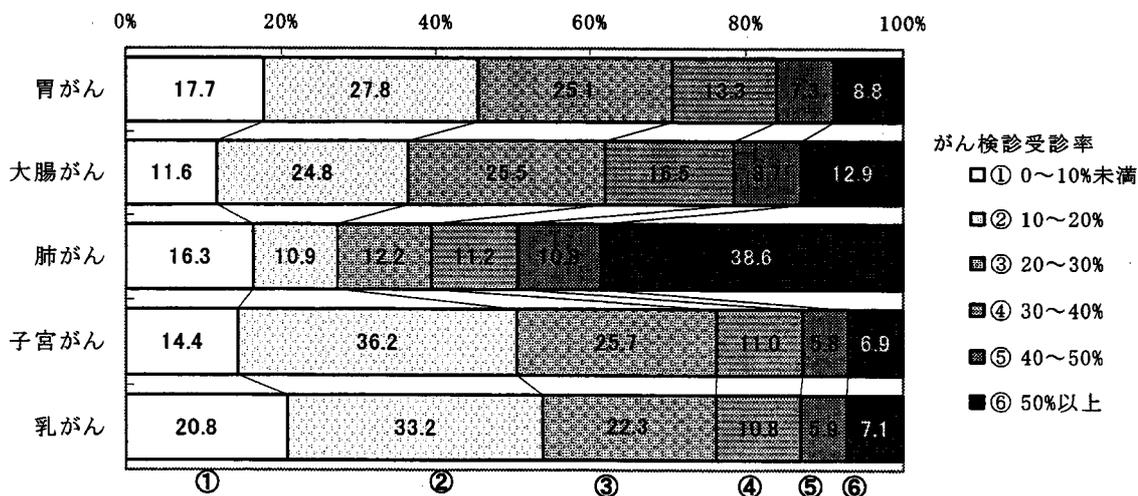
(2) がん検診受診率の分布状況

平成15年度、市区町村のがん検診受診率の分布をみると、「肺がん」は受診率の高い市区町村が多く、一方、「子宮がん」「乳がん」は低い市区町村が多い。(表8, 図9)

表8 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況 平成15年度(2003)

	全国 市区町村数	がん検診受診率					
		0~10%未満	10~20%	20~30%	30~40%	40~50%	50%以上
胃がん	3 155	558	877	792	421	230	277
大腸がん	3 155	366	782	805	521	273	408
肺がん	3 155	514	344	385	353	341	1 218
子宮がん	3 155	453	1 142	811	348	182	219
乳がん	3 155	655	1 046	702	342	186	224

図9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況 平成15年度(2003)



### (3) 市郡別にみたがん検診受診率

平成 15 年度、がん検診受診率を市郡別にみると、「政令市 14 大都市」はすべてのがん検診において全国平均より低く、「郡部」はすべてのがん検診において全国平均より高く、「政令市以外の市」は全国平均と同程度となっている。(表 9、図 10)

表 9 市郡別にみたがん検診受診率

平成 15 年度(2003)

(単位:%)

		胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん
全 国		13.3	18.1	23.7	15.3	12.9
政令市	14大都市	7.6	11.0	8.7	12.2	8.3
	その他政令市	9.7	17.6	19.7	13.2	11.1
政令市以外の市		12.7	18.1	22.9	14.9	12.7
郡 部		22.6	26.2	41.5	21.3	20.4

注:「市郡」は、「Ⅲ用語の説明」参照。

図 10 市郡別にみたがん検診受診率

平成 15 年度(2003)

